

蛭ヶ岳 市原新道～白馬尾根

山行日：12月13日（火） 天候：晴れ メンバー：yamaya3 他1名

行程：魚止橋 8:00…造林小屋 8:27…最初の橋 8:54…へつり岩 8:59…雷平 10:00…雷
滝 10:22…1352 付近平 11:32…昭和17年遭難碑 11:52…蛭ヶ岳 12:28～50
…雷平 14:35…伝道 15:29…魚止橋 15:45

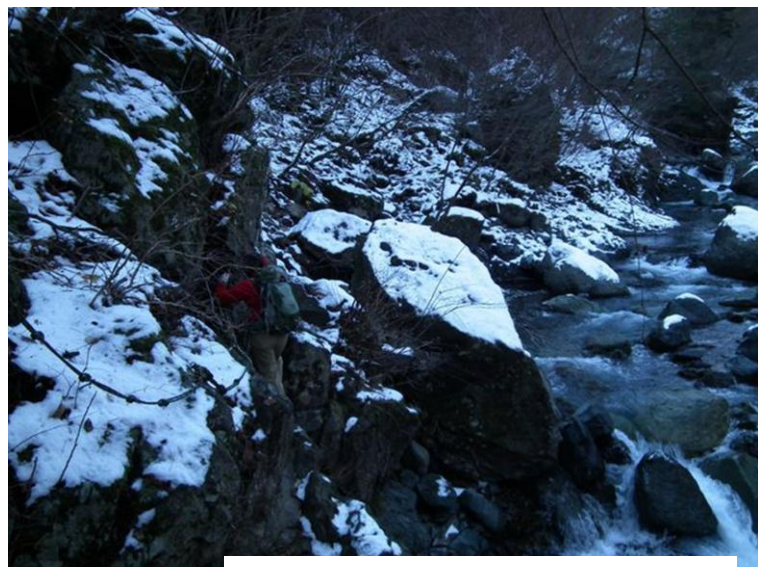


早戸川魚止橋をスタート
伝道から山道へ、数日前の降雪で
山道は雪と凍結、アイゼンを持っ
てこなかったことが悔やまれる。
造林小屋先の細い山道、栈道も古
く今にも落ちそうで慎重に進む。
河原に降り立ち、数度の流れの渡
り返しがあり、左写真の切り倒し
たような木を使った橋が二か所、
表面が凍結しており、アイゼン未
装着の私は、気温 0 度のなか、
案の定ドボンと水中へ、
腰からは水がしたたる姿になる。

右の岩場のへつり、残置ロープが
あるが、身体が伸び切り補助には
少しばかり足りず、持参のロープ
で補助した。

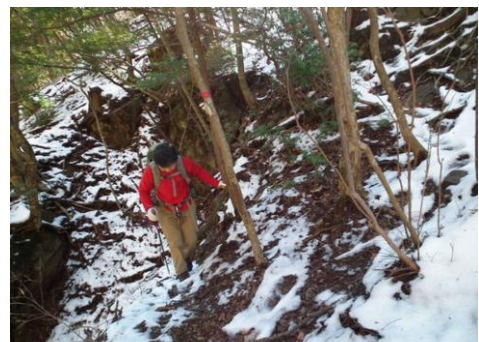
この先 2 度ばかりの渡渉、また
もや水の中へ、やけくそになり沢
の中を右に左に出合へ。

雷平から早戸川本流へ、雷滝から
本格的な急登が始まる。



←早戸川・雷滝

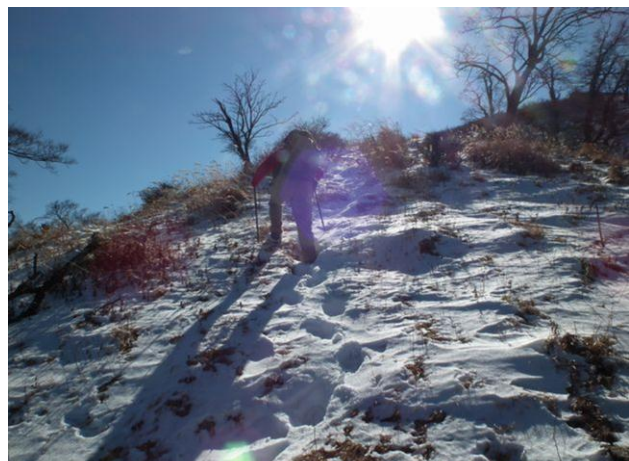
雷滝からの上り→





山頂近く
大室山や遠く南アルプス
甲斐駒や白峰三山が見え
る。
登ってきた方向には相模
原の橋本や我が第二のふ
るさと城山が見える。

蛭ヶ岳山頂直下
小屋の北側から左に回り
込み
山頂に出る。
富士山や周囲の山々が一
望できる。気温 10 度だが
風が強く寒く、長居をせず
に下ることにした。



左：蛭ヶ岳を下り鬼が岩の頭から振り返る。 右：丹沢山（左奥）を見る。
この縦走路木道敷設工事中だった。寒い中作業員らは小屋に泊まりこみだとか、ご苦労様です。